

続きまして、学校での熱中症対策について質問します。

近年の猛暑により、学校現場における熱中症のリスクが高まっております。特に、児童生徒は体温調節機能が未熟であり、屋外活動や登下校時においても深刻な影響を受ける可能性があります。

一昨日の野田議員の質問に対する御答弁で、学校での熱中症件数が減少していることが分かりました。学校現場で熱中症対策にしっかりと取り組んでおられる成果であると認識をしております。熱中症ゼロを目指し、これからも対策を進めていただきたいところです。

そこで3点お伺いいたします。

1点目、まず熱中症対策ガイドラインの作成状況について教えてください。暑さ指数を活用した活動制限の運用状況について、教育委員会としてどのように把握、指導されていますか。

2点目、中学校の運動会が間近に迫っていますが、熱中症対策として、どのような配慮をされていますか。

3点目、水分補給について、児童生徒は水筒を持参してきていると思いますが、学校にいる間に水筒が空になってしまうこともあると思います。校内にウォーターサーバーを設置して、水筒に入れられるようにしてはどうかと考えます。

御所見をお伺いいたします。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。竹林教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（竹林栄一）（登壇） 学校での熱中症対策についてお答えいたします。

熱中症対策ガイドラインにつきましては、新居浜市教育委員会独自では作成しておりませんが、文部科学省の学校教育活動等における熱中症事故の防止についての通知に沿って、各学校を指導しております。具体的には、まだ気温の高くない時期から熱中症事故防止のための適切な措置を講ずることや実際に活動する場所における熱中症の危険度について、暑さ指数等を活用して把握し、実施を判断することなどがございます。

また、適切な熱中症防止の対応ができるかをチェックリストによって確認しております。

次に、中学校の運動会における熱中症対策についてでございます。

具体的には、冷感タオルや首に着用する保冷リング、うちわ等の使用、また、ミストシャワーの設置や塩分タブレットの配布のほか、テントの背面等に日よけ用のシートを取り付けるなど、各校で工夫して熱中症対策を行っております。

次に、校内にウォーターサーバーを設置することについてでございます。ウォーターサーバーの設置は、安心安全な水分補給として有効ではございますが、定期的な清掃や水質管理、故障時の対応など、衛生管理や安全面の対策が必要であるほか、初期費用や維持管理経費など、費用負担についての課題がございます。

まずは、課題を整理した上で、他市での導入事例を調査研究してまいりたいと考えております。

○議長（田窪秀道） 片平恵美議員。

○7番（片平恵美）（登壇） 質問をいたします。

ガイドラインは作っていないけれども、文部科学省の通知に沿って対策をしているという御答弁が今あり

ました。イベント中に暑さ指数が危険な値を示した場合などに、イベントの中止の判断というのはすごく難しいと思うんです。もう始まっていて運動会なんかが盛り上がっているときに、はい、中止というのはなかなか難しいとは思うんだけれども、そういうガイドラインがあれば、一つ判断の材料になるんじやないかなと思います。それは作成する必要がないのか、お答えください。

それと、中学校の運動会でミストシャワーを採用している学校があるということですが、これを採用しているところは一部のテントだけではなく、全部のテントにミストシャワーをついているのか、それとも1か所だけにあって、暑くなったらそこに行くような形になっているのでしょうか、教えてください。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。竹林教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（竹林栄一）

（登壇） 片平議員さんの御質問にお答えいたします。

まず1つ目は、新居浜市教育委員会独自でガイドラインを作成していく大丈夫かというような御質問だったかと思います。先ほど御答弁いたしました文部科学省の通知にも、その行動の指針が出ていて、それで対応をしております。

それともう一点は、ミストシャワーですけれども、ミストシャワーは台数にも限りがありますので、全てというわけではございません。やはり暑い時期に、ちょっとクールダウンしたいという生徒がいましたら、その場所に行くというようなことで対応をしております。

○議長（田窪秀道） 片平恵美議員。

○7番（片平恵美）（登壇） すみません。ぶつ切りで申し訳ないです。

暑さ指数計というのは、全校に配置されているのでしょうか。

○議長（田窪秀道） 答弁を求めます。竹林教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（竹林栄一）

（登壇） 片平議員さんの御質問にお答えいたします。

暑さ指数計の配置はどうなっているのかということでございますけれども、暑さ指数計は全ての小中学校の体育館に固定型の指数計を設置しております。

また、養護教諭等を全ての学校に配置しておりますが、養護教諭等が携帯型の指数計を所持しており、定期的に計測しております。情報を校内に共有しております。このほかにも、指数計は複数、各学校に配置しておりますので、屋外における活動の際には、担当教員や部活動顧問も計測しながら数値を把握しております。

○議長（田窪秀道） 片平恵美議員。

○7番（片平恵美）（登壇） お答えありがとうございます。

文部科学省の指針で、暑さ指数が幾つ以上になつたら危険だからもうやめなさいというラインが明確に示されていますのであれば、ぜひそれに沿つた運用をしていただきたいというふうに思います。

それと、あともう一つ。子供たちの荷物はただでさえ重たくて、低学年の小さな子供にとって大きな水筒

というのは大変な負担になると思うんですよね。ウォーターサーバーも、メンテナンスが簡単であるものとか維持費がかからないようなもの

なんかもありますので、ぜひともいろいろなものを検討していただきたいというふうに思います。熱中症対策とともに、子供の負担軽減にもなりますので、前向きに御検討ください。